



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月28日

上場会社名 ネットワンシステムズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7518 URL <https://www.netone.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 荒井 透
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 勝村 忠雄 TEL 03-6256-0615
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	131,147	6.6	11,819	21.4	10,451	7.0	7,261	42.9
2020年3月期第3四半期	123,029	6.0	9,739	40.5	9,771	37.6	5,081	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 6,786百万円 (30.4%) 2020年3月期第3四半期 5,202百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	85.70	85.50
2020年3月期第3四半期	59.99	59.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	139,924	68,115	48.5	800.51
2020年3月期	135,764	65,337	47.9	767.89

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 67,837百万円 2020年3月期 65,053百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	21.00	—	24.00	45.00
2021年3月期	—	24.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,000	6.2	19,000	15.2	17,500	6.8	12,000	22.2	141.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	86,000,000株	2020年3月期	86,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,256,973株	2020年3月期	1,281,836株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	84,732,366株	2020年3月期3Q	84,707,776株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
(その他注記情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①市場別の受注高・売上高・受注残高

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、スクールシステム（GIGAスクール構想を含む）・テレワーク拡大・セキュリティ対策・クラウド基盤等のビジネスが堅調に進捗しました。

受注高は1,445億18百万円（前年同四半期比3.1%減）、売上高は1,311億47百万円（前年同四半期比6.6%増）、受注残高は1,068億88百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。

市場別の内訳としては、エンタープライズ（ENT）市場では、新型コロナウイルス感染症対応への要望が強く、テレワーク拡大、セキュリティ対策、クラウド基盤が堅調に推移しました。

受注高は411億9百万円（前年同四半期比2.3%減）、売上高は372億32百万円（前年同四半期比0.2%増）、受注残高は303億51百万円（前年同四半期比14.3%増）となりました。

通信事業者（SP）市場では、サービス基盤や法人事業の支援、テレワークの拡大に伴う回線の増強を中心に展開しました。

受注高は210億27百万円（前年同四半期比4.6%減）、売上高は252億45百万円（前年同四半期比6.5%増）、受注残高は102億88百万円（前年同四半期比18.2%減）となりました。

パブリック（PUB）市場では、スクールシステム（GIGAスクール構想を含む）、セキュリティ対策、及びクラウド基盤ビジネスが好調な一方で、ヘルスケアは低調となりました。

受注高は562億91百万円（前年同四半期比19.3%増）、売上高は385億39百万円（前年同四半期比7.0%増）、受注残高は560億8百万円（前年同四半期比31.6%増）となりました。

パートナー事業（ネットワークパートナーズ株式会社）では、受注高はパートナー各社が新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことで低調となりました。一方で、売上高は昨年度受注した大型案件が寄与しました。

受注高は248億31百万円（前年同四半期比32.6%減）、売上高は289億6百万円（前年同四半期比14.3%増）、受注残高は100億89百万円（前年同四半期比48.3%減）となりました。

その他では、受注高が12億57百万円、売上高が12億23百万円、受注残高が1億50百万円となりました。

②商品群別の受注高・売上高・受注残高

商品群別の内訳としては、機器商品群では、受注高は昨年度の大型案件が剥落したことで減少しました。一方で、売上高は新型コロナウイルス感染症の影響による作業遅延があるものの、受注残高を順調に消化したことで増加しました。

その結果、受注高は882億66百万円（前年同四半期比3.7%減）、売上高は750億56百万円（前年同四半期比6.8%増）、受注残高は405億61百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

サービス商品群では、「統合サービス事業」が順調に進捗しました。その結果、受注高は562億52百万円（前年同四半期比2.2%減）、売上高は560億91百万円（前年同四半期比6.4%増）、受注残高は663億26百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

③損益の状況

「統合サービス事業」が進捗したことにより売上総利益率が改善し、売上総利益は364億74百万円と、2021年1月28日に公表した通期の修正計画値に対する進捗率（以下、進捗率）が67.5%となりました。販売費及び一般管理費が246億55百万円となった結果、営業利益は118億19百万円（進捗率62.2%）、経常利益は104億51百万円（進捗率59.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は72億61百万円（進捗率60.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は1,399億24百万円となり、前連結会計年度末に比べて41億59百万円の増加(3.1%増)となりました。

資産の内訳は、流動資産は1,300億65百万円となり、前連結会計年度末に比べて52億69百万円の増加(4.2%増)となりました。これは主に、たな卸資産が合計で154億円増加し、一方で、現金及び預金が43億28百万円、受取手形及び売掛金が101億17百万円減少したことによるものです。また、固定資産は98億59百万円となり、前連結会計年度末に比べて11億9百万円の減少(10.1%減)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は718億9百万円となり、前連結会計年度末に比べて13億82百万円の増加(2.0%増)となりました。これは主に、リース債務が46億15百万円、前受金が21億79百万円増加し、一方で、買掛金が15億57百万円、未払法人税等が25億96百万円、賞与引当金が21億93百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は681億15百万円となり、前連結会計年度末に比べて27億77百万円の増加(4.3%増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益72億61百万円の計上と、配当金の支払い40億66百万円により利益剰余金が31億94百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年4月23日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の予想数値を修正いたしました。

詳細については、本日(2021年1月28日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,473	27,144
受取手形及び売掛金	52,845	42,728
リース投資資産	11,693	13,253
商品	2,254	1,760
未着商品	337	900
未成工事支出金	12,955	28,278
貯蔵品	14	23
前払費用	12,092	14,719
その他	1,129	1,260
貸倒引当金	△2	△4
流動資産合計	124,795	130,065
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	3,787	3,750
その他	922	718
有形固定資産合計	4,709	4,469
無形固定資産		
のれん	64	16
その他	1,436	1,357
無形固定資産合計	1,501	1,373
投資その他の資産		
投資有価証券	171	170
繰延税金資産	2,601	1,853
その他	2,010	2,017
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	4,757	4,016
固定資産合計	10,968	9,859
資産合計	135,764	139,924

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,906	18,348
リース債務	4,995	7,070
未払金	1,694	2,492
未払法人税等	3,173	577
前受金	16,851	19,031
資産除去債務	13	204
賞与引当金	3,308	1,115
役員賞与引当金	154	84
その他	8,596	8,705
流動負債合計	58,694	57,630
固定負債		
リース債務	11,078	13,618
資産除去債務	612	521
その他	41	38
固定負債合計	11,732	14,179
負債合計	70,427	71,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,279	12,279
資本剰余金	19,503	19,536
利益剰余金	33,992	37,186
自己株式	△1,007	△987
株主資本合計	64,767	68,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△0
繰延ヘッジ損益	293	△165
為替換算調整勘定	△7	△11
その他の包括利益累計額合計	286	△176
新株予約権	180	222
非支配株主持分	103	55
純資産合計	65,337	68,115
負債純資産合計	135,764	139,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	123,029	131,147
売上原価	89,987	94,672
売上総利益	33,042	36,474
販売費及び一般管理費	23,302	24,655
営業利益	9,739	11,819
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	82
関係会社業務受託収入	143	107
販売報奨金	47	74
団体保険配当金	69	18
その他	105	142
営業外収益合計	366	426
営業外費用		
支払利息	53	36
為替差損	10	—
貸倒損失	198	—
寄付金	—	1,341
特別調査費用等	58	301
その他	12	114
営業外費用合計	334	1,794
経常利益	9,771	10,451
特別損失		
固定資産除却損	2	3
不正取引関連損失	1,257	—
特別損失合計	1,259	3
税金等調整前四半期純利益	8,512	10,447
法人税、住民税及び事業税	2,370	2,446
法人税等調整額	1,075	747
法人税等合計	3,446	3,194
四半期純利益	5,066	7,253
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,081	7,261

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	5,066	7,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
繰延ヘッジ損益	149	△459
為替換算調整勘定	△11	△7
その他の包括利益合計	136	△466
四半期包括利益	5,202	6,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,223	6,797
非支配株主に係る四半期包括利益	△20	△11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

不正取引に関する事項

当社は、前連結会計年度において、2014年12月以降、納品実体のない取引が繰り返し行われていたことを認識するに至り、納品実体のない取引が行われた期間にわたって損失を計上するため、前第3四半期連結累計期間における納品実体のない取引にかかる支出額のうち、前第3四半期連結累計期間の末日から2か月間に入金がない場合、当該支出額を特別損失(不正取引関連損失)として計上しております。

不正行為に関連した取引を取消処理したこと等により生じた債務5,553百万円を流動負債の「その他」に含めて表示しております。

なお、当社は、みずほ東芝リース株式会社(以下「原告」)と日鉄ソリューションズ株式会社(以下「被告」)との間の違約金請求事件について、2020年10月28日付で、被告より訴訟告知を受けました。訴訟告知書によると、当該違約金請求事件は、原告が被告に対して売買契約の解約違約金として10,926百万円及び遅延損害金を請求するものであり、被告が当該違約金請求事件に敗訴した場合、当社元従業員による不正行為に関連した取引に巻き込まれた結果として、当社に対し使用者責任に基づく損害賠償請求権を行使することになるとあります。当社の訴訟告知への対応方針は未定であります。上記債務を充当する可能性があります。

当該不正取引に関与した各社間での訴訟が継続しており、各社間での清算並びに当社における法人税等の更正の請求等は完了していないため、今後の状況によっては、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ENT 事業	SP 事業	PUB 事業	パートナ ー事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	37,144	23,709	36,008	25,298	122,161	868	123,029	—	123,029
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5	2	5	2	16	10	27	△27	—
計	37,150	23,712	36,013	25,300	122,177	879	123,057	△27	123,029
セグメント利益 又は損失(△)	3,739	2,031	2,137	2,483	10,392	△0	10,391	△652	9,739

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)(営業利益)の調整額△652百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△652百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	ENT 事業	SP 事業	PUB 事業	パートナ ー事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	37,232	25,245	38,539	28,906	129,924	1,223	131,147	—	131,147
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7	3	6	12	29	35	64	△64	—
計	37,240	25,248	38,545	28,919	129,953	1,258	131,212	△64	131,147
セグメント利益 又は損失(△)	3,753	2,719	3,461	2,590	12,524	△66	12,458	△639	11,819

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)(営業利益)の調整額△639百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△639百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(その他注記情報)
 (四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
給与手当	8,090百万円	8,341百万円
賞与引当金繰入額	884	900
役員賞与引当金繰入額	83	85
退職給付費用	487	501
賃借料	2,288	2,584
減価償却費	1,026	1,161
のれん償却額	84	48